



「笑顔とつながり」

永田台

サステイナブルスクール

No.524 10月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和元年9月30日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

ラグビーの精神



副校長 中村 宏

8月初旬、ある職員から「みなみまつりの盛り上がりは、すごいですよ。」と言われました。8月17・18日、実際のお祭りを見て、私の想像を超える盛り上がりで度肝を抜かれました。先日、ある職員から「永田台小学校の運動会の盛り上がりは、すごいですよ。」と言われました。今回も私の想像を超えるのではないかと、今から楽しみにしているところです。

さて、9月10日の朝会で子どもたちには話をさせていただきましたが、私はずっとラグビーをしていました。今でも試合に出場することがあります。また、最近までラグビーを扱ったドラマも放送されており、毎週胸を熱くしながら興奮して観ていました。さらに現在、ラグビーワールドカップが開催されており、各国代表のプレーに興奮冷めやらぬ日々を送っています。朝会で話したのは、そんなラグビーの精神に関する内容です。

一般的なスポーツでは、試合終了の際、ゲームセットやタイムアップと表現されることが多いです。一方、ラグビーでは「ノーサイド」という言い方をします。この「ノーサイド」には、戦い終えたら両軍のサイドはなくなり、戦った相手を尊重し、認め合い、一つの同じ仲間になるという意味が込められています。



今、永田台小学校の校庭では、来週に迫った運動会に向けて、熱心に練習をする子ども達の姿が見られます。リレー・応援団・騎馬戦等々、練習の様子から「負けないぞ」「勝ちたい」という思いがひしひしと伝わってきます。運動会ですから赤組と白組に分かれて競い合い、勝敗をつけます。しかし、運動会が終わった後は「ノーサイド」の気持ちをもって、赤組も白組も関係なく全校が一つの仲間として、今よりもっと絆が強くなり、一致団結した永田台小学校になることを期待しています。

ラグビーには、他にも「One for All All for One (一人はみんなのために みんなは一人のために)」という自己犠牲の精神や、「ルールを守り、正々堂々ベストを尽くそう」というフェアプレーの精神があります。どの精神も運動会の中で、大切にしてほしいと願っています。

永田台小学校にとって運動会は、年間の節目となる大きな行事です。保護者や地域の皆さまには、4月からこれまでの成長した子ども達の姿を、そして笑顔でパワフルな子ども達の姿を、是非ご覧いただきたいと思えます。

教職員一同、たくさんの方のご来校を心よりお待ちしております。